

教科書説明の効率化を行う

これまで【文法ポイント】や【教科書本文解説】を黒板を用いて、行っていました。教科書の本文を黒板にすべて板書することは難しく、時間もかかる作業でした。

しかし、事前にPowerPointで作成し、それを提示することで時間短縮や、他の活動に時間を回すことができました。また「見やすい」「分かりやすい」という生徒からの感想もありました。次の時間に前時の復習を行う際にも、その画面を使用できました。

＜教科書本文読解＞

ICT活用のポイント

あらかじめ色や四角囲い、下線などの画面上の使い分けを説明しておく。
また、「見やすさ」「分かりやすさ」を重視してPowerPointを作成し、必要な補足情報などを黒板に板書する。

Meiling: How do you keep in touch with people?
「連絡を取り続ける」

Paul : I usually use e-mails.
★他にも①often「しばしば」②always「いつも」③sometimes「時々」④never「決して～ない」

They're more useful than other ways.
「～していただけますか」

Meiling: Can you explain?
「～していただけますか」

Paul : Sure. E-mails are quick and easy.
★長い形容詞は他にも... beautiful「美しい」 interesting「おもしろい」 important「重要な」 delicious「おいしい」 famous「有名な」 popular「人気のある」 exciting「わくわくする」

Meiling: I see.

Paul : In my opinion, e-mails are the most convenient way.
「私の意見では」 ←長い形容詞の最上級では、mostを用いる。

本文解説PowerPoint

活動とその説明に視覚的支援を行う

①過去形・過去分詞形の発音練習を教科書ではなく、前のテレビ画面で行った。文字の色を変えたり、頻繁に用いる重要な語を選んだりすることができた。また、顔が上がって発音練習を全体でできるため、声も大きく出ていた。

②受け身のBINGOゲームや帯活動のLINEゲームにおいて、テレビ画面に英語や写真を提示して、視覚的な支援を行った。多くの生徒から「画面があった方が良かったです。」という感想を得ることができた。

＜文法活用＞

ICT活用のポイント

①過去分詞は発音と語をリズムで繰り返し練習することで定着させていく。
②視覚的支援があるので、必要以上に日本語を用いず、英語で説明するように心がける。

	原形	過去形	過去分詞形
「話す」	say	spoke	spoken
「取る」	take	took	taken
「書く」	write	wrote	written
「見る」	see	saw	seen
「知っている」	know	knew	known
「行く」	go	went	gone
「する」	do	did	done
「食べる」	eat	ate	eaten
「与える」	give	gave	given

原形・過去形
過去分詞形が
すべて違うもの

過去分詞発音練習表

英語の勉強方法やコツを伝える

以前までは、口頭で英語の勉強方法やコツを伝えることしかしていませんでした。

そこで、【長文読解の極意】【なぜ英語を勉強するのか】【効果的な勉強方法】【点数UPのコツ】等をPowerPointも用いながら、説明を行いました。言葉だけで伝えるよりも生徒の反応が良く、必死に付箋にメモをする生徒もいました。

ポイントをすべて提示でき、視覚的な支援があることは最大のメリットであると感じました。

ICT活用のポイント

番号をつけて、簡潔でわかりやすい文を箇条書きする。残りの補足情報や説明はすべて口頭で行う。
アニメーションで順番に出していくと生徒を引きつけることができる。

★長文読解の極意★

- ①指示語は直前を見る。
- ②問題文を正しく読む。
- ③答えは必ず本文にあり。
- ④消去法を使う。
- ⑤大切な語はくり返される。
- ⑥本文を全部読まない。
- ⑦先に質問に目を通す。

英語学習のコツ

良い発表を撮影し、事後のフィードバックへ

ALTと協力して、2時間という短い時間でプレゼンテーションを企画し、実践しました。お題は「Which」を用いた英文からクラスで調査を行い、その結果を発表するというものです。下の動画は調査の様子です。


この2人の生徒は、少し英語が苦手な生徒でしたが、大きな声で英語を使って、答える事ができています。

これまではそこで終わっていましたが、よく頑張っていた生徒や素晴らしい発表を撮影し、終了後に何が良かったのかを全体で考えることで、次の発表に繋げることができました。

ICT活用のポイント

あらかじめ良い発表を教師側で選び、投影する。ポイントで何が良かったのかなどを全体で考えさせる。
他のグループの生徒のがんばっている姿を見ることができるので、学習意欲の向上にも繋がる。



 授業動画30秒